

# ● 埼玉教育 第3号 令和3年9月 目次 ●

## ◆目次

### 巻頭言インタビュー

○何度でもやり直せる社会を目指して 株式会社キズキ／特定非営利活動法人キズキ 代表 安田 祐輔 2

### 巻頭言

○「子どもの貧困」に対する4つのアプローチと倫理的ジレンマ 東京学芸大学教授・こどもの学び困難支援センター長 加瀬 進 6

### 県教委 施策事業の紹介

○本を読むことに障害のある児童生徒の学習・読書を支援します 県立久喜図書館 バリアフリー読書推進担当 佐藤 聖一 8

### 教育法規・情報

○教職員の不祥事に対する「当事者意識」を 総務課 不祥事根絶・行政監察担当 10

### 特集：様々な課題を抱えた子供たちへの多様な支援

○小学部～高等部12年間のつながりある教育課程の編成～教員全員の思いを大切に教育課程編成への取組～ 県立宮代特別支援学校 教諭 保坂 淳一 12

○養護教諭の視点から生まれた高校通級指導「TACHIBANAモデル」キャッチアップタイムができるまで 県立上尾橋高等学校 養護教諭 柳 ルツ子 16

○肢体不自由特別支援学校における防災対策・防災学習の実践について 県立日高特別支援学校 教諭 齋藤 朝子 20

### 指導力向上のための実践論文

○明るく豊かにたくましく社会にはばたく～学習指導要領の改訂に伴う学校教育目標の改定～ 県立大宮北特別支援学校 主幹教諭 神 直和 24

○音楽療法を活用した自立活動について 県立越谷西特別支援学校 教諭 増田 忠樹 26

○学習支援室を核とした新規不登校生徒0を目指した取組 桶川市立桶川東中学校 教諭 飛田 正史 28

### 教育課題の解決へ向けて

○地域とともにある学校づくりを目指して～社会に開かれた教育課程の実現とコミュニティ・スクール～ 横瀬町教育委員会 指導主事兼主幹 林 和彦 30

○企業と連携した総合的な学習の時間の取組～社会に開かれた教育課程の実現に向けて～ 県立伊奈学園中学校 教諭 犬竹 崇文 32

○新しい社会を生き抜く児童の育成～プログラミング的思考を軸とした情報活用能力の育成～ 上尾市立鴨川小学校 校長 井浦 博史 34

○白岡高校におけるICTを活用した学校業務の効率化 県立白岡高等学校 教頭 石井 康仁 36

○笑顔で出勤、笑顔で授業、笑顔で退勤 ICTの利活用による働き方改革の推進 杉戸町立杉戸小学校 校長 石田 茂生 37

### 長期研修報告

○運動の楽しさを味わわせ、進んで運動に取り組む児童を育成する体育授業の研究 三郷市立早稲田小学校 教諭 中嶋圭一郎 38

### 教職員からのメッセージ

○私が大切にしたいこと 県立川越特別支援学校 教諭 角谷 舞 41

○音楽科の教員として学ばせていただいたこと 人として成長させていただいたこと 川越市立南古谷中学校 教諭 阿部 洋子 42

### 教育相談

○教育相談の現場から/教職員相談道しるべ 総合教育センター 指導相談担当 43  
総合教育センター 教職員研修担当 高橋 和弘

### 管理職の魅力発信

○管理職の魅力 戸田市立笹目東小学校 教頭 伊藤 和三 44

### 子供たちに伝えたい埼玉の偉人

○藍香ありて青淵あり 一洗沢栄一の師 尾高惇忠一 渋沢栄一翁の志 副委員長 深谷市文化財保護審議会委員 荻野 勝正 45

### 学校紹介

○新たな出発(分教室から分校へ)こどもの心により添いながら～東松山特別支援学校「嵐山学園分校」の教育実践～ 県立東松山特別支援学校 校長 中里 尚樹 46

### 教育長からのメッセージ

○子どもをあなどることなかれ 加須市教育委員会 教育長 渡邊 義昭 47

### コラム

○ひとつ余分に実行する～一通の手紙と心づかい～ 県立上尾かしの木特別支援学校 校長 金子 功 48

◇表紙	防災学習(かわせみ防災タイム)……………	県立日高特別支援学校	教諭	齋藤 朝子
◇表紙見返し	ホテルと楽しく遊んだよ……………	鴻巣市立常光小学校	3年	澤邊 咲希
	田んぼに写る夕日の景色……………	伊奈町立伊奈中学校	2年	保坂 実里
◇裏表紙	鳩と見守るべき物……………	新座市立第二中学校	1年	浅野 悠真
◇裏表紙見返し	さいたま水族館で 川の国埼玉の魅力を再発見する……………	さいたま水族館(水郷公園)	飼育課長	藤嶋 浩義